

議 事 録

	作成日 平成24年11月19日(月)
会議名	平成24年度 第1回 NPO活動交流センター運営委員会
月日	平成24年11月15日(木) 時間 15:00～16:30
場 所	アイーナ6階 団体活動室3 作成者 事務局 平賀 泉

出 席 者

所 属	役 職	氏 名	出 欠	備 考
もりおかNPO連絡協議会	会長	浅沼 道成	出	委員長
(特非)アイディング	代表理事	藤枝 薫	出	副委員長
滝沢村住民環境部住民協働課	課長	藤原 治	出	委員
(社福)岩手県社会福祉協議会	社会福祉推進員	菅原 進	出	委員
(特非)レスパイトハウス・ハンズ	会長	小野 仁志	出	委員
岩手県政策地域部NPO・文化国際課	主任	中村 和也	出	オブザーバー
(特非)風・波デザイン	代表運営委員	丸山 佑介	出	受託者
NPO活動交流センター	センター長	櫻井 久	出	受託者(事務局)
NPO活動交流センター		平賀 泉	出	受託者(事務局)
欠席者				
(社)盛岡青年会議所	理事	山添 英里	欠	委員
(特非)未来図書館	コーディネーター	佐々木 瞳	欠	委員
(特非)カシオペア連邦地域づくりサポーターズ	代表理事	浪岡 洋一	欠	委員

協 議 事 項

1、 各委員による意見等、評価の実施
2、 次回以降のスケジュールについて
3、 その他

議 事

委員長より「本日第2回目の運営委員会は評価のための中間報告を受託者からしてもらう場である。

次回、3回目の委員会で評価を実施する。」

(受託者) 下記、提出資料の確認と内容の説明をする。

・事業実施計画(～10月実績)

・評価シート

・NPO活動交流センター主な取り組み

・利用者アンケート結果(中間報告)

・相談内容分野別集計表

・センターへの意見一覧①・②

・登録団体一覧表(H24.11.1)

1、各委員による意見等、評価の実施

(委員) 学生のために、利用していない角テーブルを開放できないか？

(受託者) 一般の利用者が利用できるテーブルは必ず必要。現時点で、学生への開放は考えていない。

(委員) 相談業務の中でボランティア参加に関する相談件数が何件かあるが、この方々へはボランティア保険の案内はしているのか。

(受託者) コーディネートに関する相談が多いので、ボランティア保険までの案内に至っていなかった。今後はそこまで案内するよう心掛けていきたい。

(委員) 県内の各団体の活動事例のヒアリングはしているのか？ PINとのリンクは？

(受託者) ヒアリングはしていないが、各団体の活動情報は持っているので、相談業務の団体紹介等に活かしている。

(県) PINの編集委員会には編集委員として丸山代表理事が参加している。N活からのページを1頁設け情報提供に協力してもらっている。

(委員) 相談件数の中で、個人と団体の割合は？ N活での相談と出張相談の割合は？

(受託者) 団体が2/3、個人が1/3 7割がN活にての相談、3割が出張での相談。

(委員) 相談事業の中で、N活と中間支援NPO団体との役割分担は？

(受託者) N活を中心に、中間支援ネットワーク団体と連携している。得意分野を活かせるよう、協力している。ノウハウをもっている中間支援団体をN活がつなげていく役割をもっている。

議 事

(委員) 数値でなくセンターの役割や質的なものをどう評価していくか。

管理業務に対する負担が大きすぎるのではないか。

今までも何回か出た問題だったが、議論はされていない。N活センターの運営上から見えてくる問題点等を見ていくべきではないか。センターの業務として施設管理が入っているのは根本的に違っているのではないか？

(県) 「多様な市民活動を推進する拠点施設としてN活センターを設置しているので、施設を運営する業務が入ってくると考えている。 団体活動室を含め、無料の施設は、財政基盤が脆弱なNPOが有意義に活動を継続できるようにという主旨にたって運営しているので、それにあたって貸館業務は必要と考えている。

(委員) アンケートに関して、N活を使っていない登録団体にとってみるのはどうだろうか？

内容も施設管理に関する事だけではなく、N活の中間支援的な役割について等、質的な設問も加える。

(受託者) N活を普段利用していない登録団体も含め、すべての登録団体に改めてアンケートをお願いする。

アンケート結果の取りまとめは第3回運営委員会にて提出する。

(アンケートの設問に関しては委員長と相談)

(委員) レターケースの利用についてはいかがか。

(受託者) 利用団体の利用頻度はかなりあるが、さほど有意義な利用状況は見えていない。

出入りがあればいいが、郵便ポストの役割のように入るだけになっている。

(委員長) 自主事業をしっかりこなしていること(今年度は定期的に基礎講座を開催している等)、

管理業務の数値や利用率が上がっている事、アンケートの中間報告を見ても特に苦情もなく、評価できる点である。

今回は、質的な事(NPOとしての中間支援的な業務)をもう少し評価できればと思う。

評価表はこのままでいくが、登録団体へのアンケートも進めてもらい、評価表にはない項目も

各委員には記載してもらいたい。

3回目の運営委員会は評価を中心に、あまり資料の説明に時間をかけないようにしたい。

2、次回以降のスケジュールについて

第3回運営委員会のスケジュールについて、下記のように決定した。

平成25年2月21日(木)18:00～20:00 アイーナにて。

以上